

恐ろしい 病気を知らう!



今回は、4月から集合注射が始まることから「狂犬病」を取り上げました。もっとも有名でワクチン接種率の高い病気にかかわらず、情報があまりない伝染病です。この病気は、犬だけでなく、狐や猫、コウモリなどあらゆる哺乳類に感染する人獣共通伝染病です。ただ、感染経路が特殊なためインフルエンザのように爆発的な伝播はしません。しかし、治療方法がない致死率100%の病気ですので、海外旅行される方は狂犬病の情報も確認してお出かけ下さい。

「狂犬病」

日本では、1954年(昭和29年)に根絶して以来発生はありません。しかし、隣の国である韓国や中国では、まだ毎年のように発生しております。そこで1950年(昭和25年)「狂犬病予防法」が制定され、犬に対してのみ毎年の予防注射の実施と、市町村への登録が義務付けられております。

感染経路

病獣の唾液に含まれる狂犬病ウィルスが、咬傷部位から体内へ侵入し感染。

予 防

年1回の不活化ワクチンの接種。

症 状

狂騒型では、攻撃的でなんにでも咬みつき、次第に意識不明の麻痺に陥り死亡します。発症中は、水を見ると怖がることから狂水症とも言われます。

その他

愛知県の登録代(生後91日以降の子犬に義務、終生1回の登録)は3000円、注射済票代は550円が必要です。当院では、ワクチン代と済票代を合わせて3300円頂いています。

治 療

対症療法のみで、発症したならほぼ100%死亡します。

